令和4年度 斜里町水道事業の決算状況について



水道事業は、皆さんにお支払い頂いた水道料金をもとに、斜里市街地 域・ウトロ地域への水道水供給を行っています。

令和元年度の決算状況の概要についてお知らせします。

1. 令和4年度の決算状況について

今年度の事業収支の内訳については、以下のとおりです。水道事業会計には、「収益的 収支」と「資本的収支」の2種類があります。

今年度の収支結果は、単年度で2、791万円の赤字となりました。

収益的収支

水道水をつくり、ご家庭にお届けするための 収入と支出です。

<収入>

<支出>

2 億 6,538 万円

不足分 2,791 万円

水道料金

(家事用) 1億59万円 38%

水道料金 (家事用以外)

1億2,235万円 46%

その他 4,244 万円 16% 2億9,329万円

減価償却費

1億7,574万円 60%

物件費

7,231 万円 25%

人件費

3,535 万円 12%

支払利息 989 万円 3%

物件費 委託料、修繕費、光熱費、物品購入費など。

支払利息 企業債償還金(借入金)の利息。

減価償却費 経年劣化により減少した資産価値を経費化

したもの。

利益 赤字です。赤字に伴い預金が減額となりま した。累積赤字は、1億1,451万円です。

資本的収支

水道施設を建設・改良するために必要な収 入と支出です。

<収入>

1億3,750万円

不足分 1億7,035万円

企業債借入金 1億3,750万円 100%

<支出>

3億785万円

企業債償還金

1億3,463万円 44%

建設改良費

1億7,322万円 56%

企業債 借入金です。

返済残高は 20 億 2,950 万円です。

建設改良費 老朽管更新工事、配水管新設工事、メータ

器取替え工事の費用など。

不足分 減価償却費などの内部留保資金を充当。

2. 今後の取組み

安心・安全な水道水の供給事業を継続するため、次のとおり取組みます。

①支出の抑制 ~ 支出の見直しを継続し、経費圧縮に努めます。

②滞納対策 ~ 納付催告や給水停止、法定回収手続きを行い、収納率の向上を目指します。

③料金の適正化 ~ 決算状況や今後の事業計画から、随時適正な料金改定を行います。

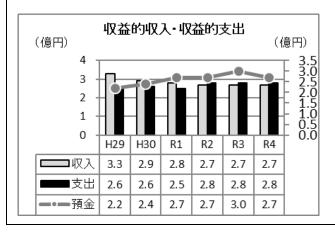
④経営状況の開示 ~ 広報・ホームページを通じ、決算状況を広く周知します。

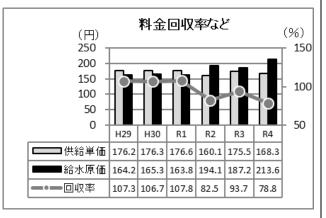
3. 過去5年間の推移

使用水量の減少から料金収入は減少が続く見込みです

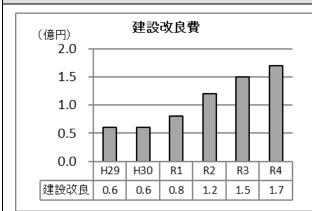


- ・人口減少に伴う利用者数の減少、節水機器の普及、新型コロナウイルスの影響などから、使用水量、料金収入の減少が続いており、収益で費用を賄えていない状況です。
- ・今後、収入の増加は見通せないことから、経営 戦略の中で、支出の抑制とともに適正な料金設 定を考え、収入増加の方策を考えていく必要が あります。





経営状況改善に努めています



(億円) (億円) 企業債 24 23 22 21 20 19 H29 H30 R1 R2 R3 R4 ■借入金 0.2 0.3 0.4 0.7 1.4 1.1 ■償還金 1.8 1.8 1.5 1.3 1.4 1.3 残高 23.8 22.3 21.2 20.5 20.3 20.6

- ・建設改良費は、老朽管やメータ器の更新など、 最低限の工事の実施としていますが、近年、機 械の老朽化による更新が増加しています。
- ・企業債(借金)の残高は減少傾向にあります。
- ・例年より年度を超えた収入額が大きかったため 料金の滞納額(未収金)は増加しています。今後も早期の納付相談や給水停止などを行い、 更なる解消に努めます。

